

戦略重点科学技術 : 信頼性の高い宇宙輸送システム 【予算総額: 444億円(255億円)】

個別技術

宇宙輸送システム

戦略重点科学技術  
に含まれない関連施策

基礎

成果の  
受け渡し  
連携

人工衛星プロジェクト(文科省)  
 ・陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)【環境・社会基盤戦略重点】  
 ・温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT)【環境戦略重点】  
 ・地球環境変動観測ミッションのうちGCOM-W【環境戦略重点】  
 ・地球環境変動観測ミッションのうちGCOM-C【環境戦略重点】

宇宙輸送システム(文科省) 444億円(255億円)

- H- Aロケットの開発・製作・打上げ 176億円(122億円)
- H- Bロケット 38億円(38億円)
- 宇宙ステーション補給機(HTV) 229億円(95億円)

基幹システムの維持等(文科省)  
144億円(133億円)

信頼性向上プログラム - ロケット信頼性向上(文科省) 60億円(43億円)

信頼性向上プログラム - 基盤技術信頼性向上(文科省) 49億円(43億円)

LNG推進系飛行実証プロジェクト(GXロケット)(文科省) 55億円(28億円)

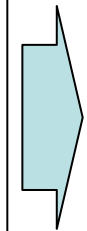
次世代輸送系システム設計基盤技術開発(GXロケット)(経産省) 27億円(23億円)

国際宇宙ステーションの運用・利用等(文科省) 194億円(195億円)

人工衛星プロジェクト(文科省)  
 ・超高速インターネット衛星(WINDS)  
 ・月周回衛星(SELENE)  
 ・技術試験衛星 型(ETS- )  
 ・第24号科学衛星(PLANET-C)

目標

世界トップレベルの打ち上げ成功率で独自に打ち上げる能力を確立する



応用

戦略重点科学技術 : 衛星の高信頼性化・高機能化技術 【予算総額: 43億円(25億円)】

個別技術

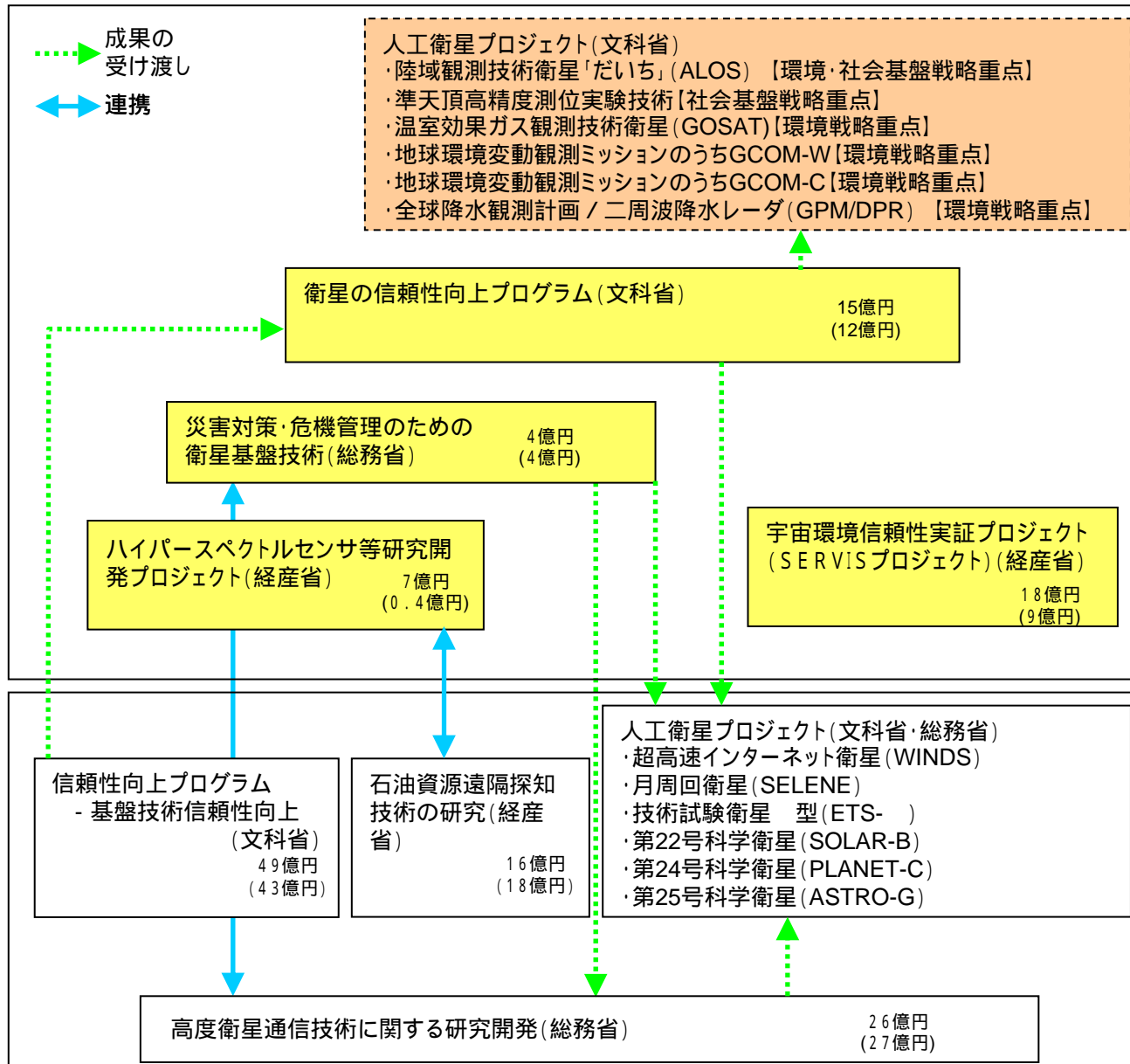
衛星利用  
技術

戦略重点科学技術  
に含まれない関連施策

基礎

応用

成果の  
受け渡し  
連携



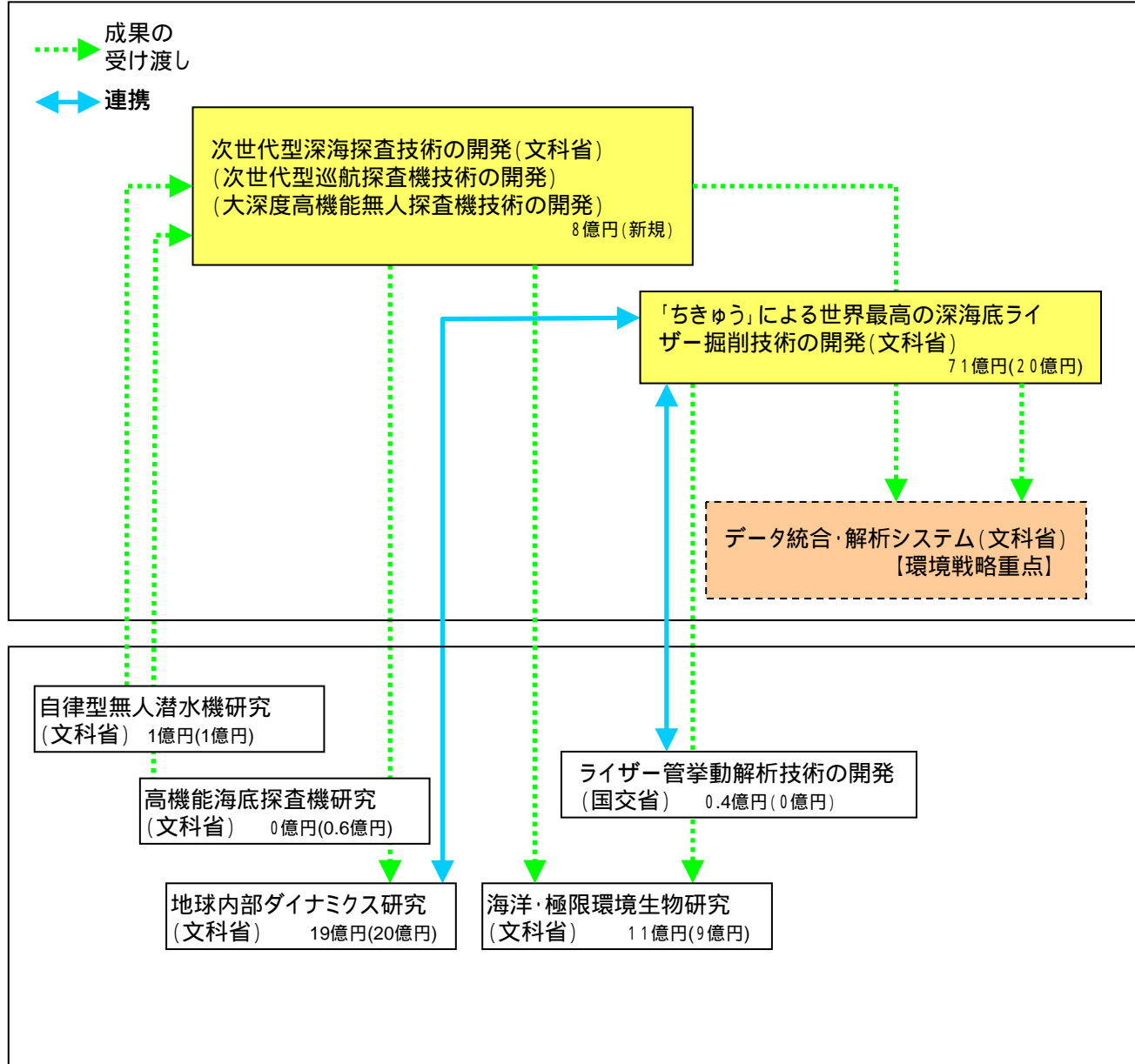
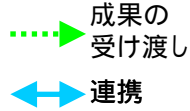
目標  
高信頼性で低コスト・高機能な衛星基盤技術を蓄積・発展させ、国民の  
安全保障に資する宇宙利用技術を支える。

# 戦略重点科学技術：次世代海洋探査技術【予算総額: 79億円(20億円)】

## 個別技術

## 深海・深海底探査技術

戦略重点科学技術に含まれない関連施策



## 目標

地球の生い立ち、生命、物質の起源について飛躍的な知識を得るとともに、我が国の海洋権益を確保・拡大する。

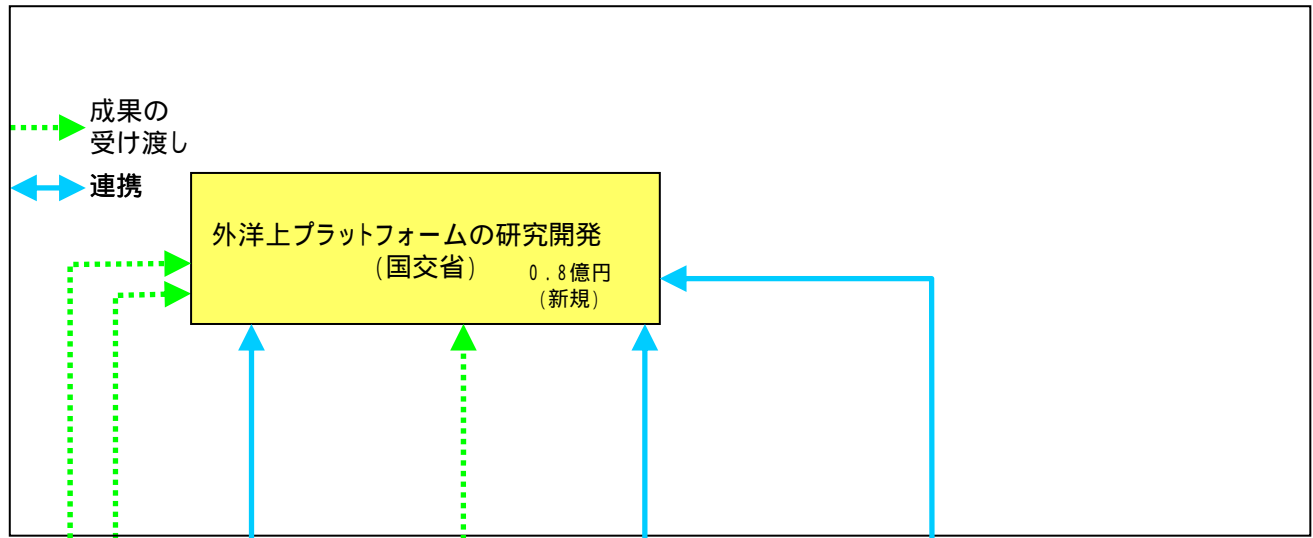
基礎

応用

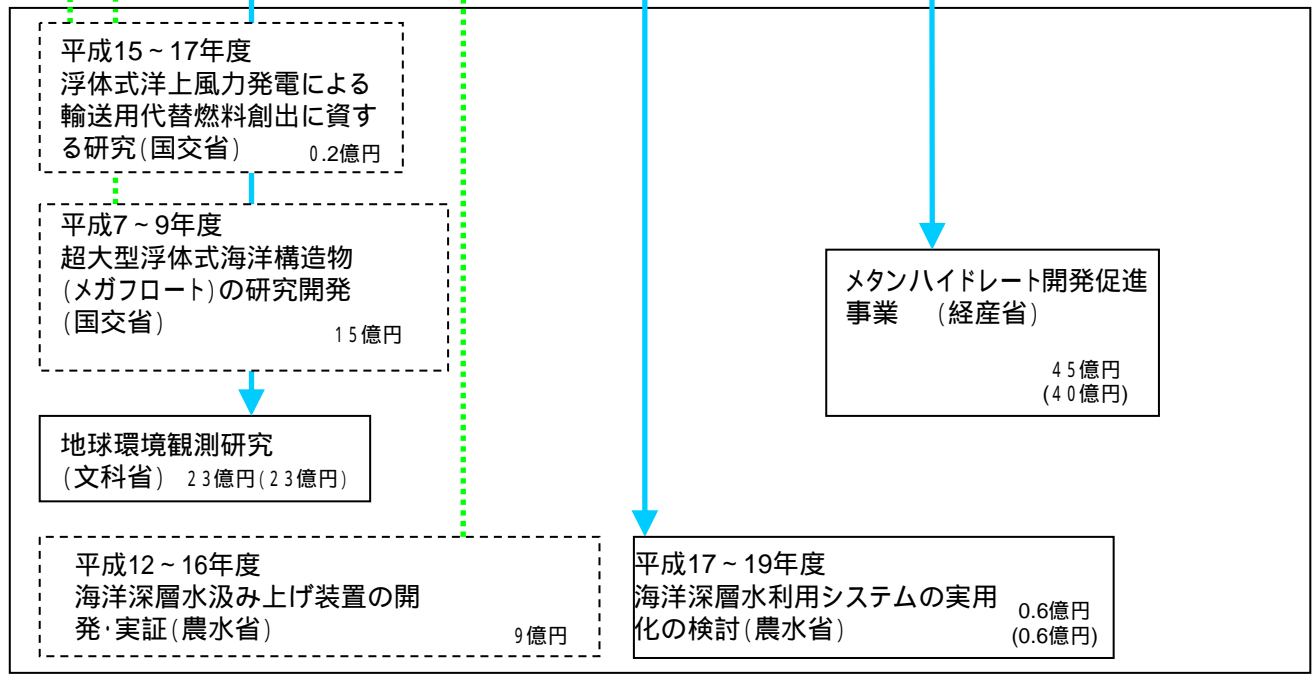
# 戦略重点科学技術：外洋上プラットフォーム技術【予算総額: 0.8億円(新規)】

個別技術

海洋利用  
技術



戦略重点科学技術  
に含まれない関連施策



目標  
海洋フロンティアを開拓し資源を確保する。

基礎 → 応用